

令和5年1月9日

委員各位

公益社団法人 日本材料学会  
疲労部門委員会  
委員長 植松 美彦

### 第352回疲労部門委員会開催ご通知

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記部門委員会を下記の要領で開催致しますので、お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。勝手ながら準備の都合上、来る2月13日(月)までにいずれかの方法(1.フォーム <https://forms.office.com/r/Fyy2J3HSYV>にて回答, 2.QRコードを読み込んで回答, 3. E-mail アドレス [secfatigue@fatigue.jsms.jp](mailto:secfatigue@fatigue.jsms.jp)にメール送信)にて、出欠のご回示をお願い致します。



なお、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、**現地対面+オンライン(Zoomを予定)のハイブリッド開催**といたします。ご回答の際、ご出席の場合は参加形態を合わせてご連絡ください。また、部門委員会に対面で出席いただける場合は、併せて懇親会への出欠(懇親会のみでも可)をご回答ください。懇親会準備の都合上、通常より回答期限を早めに設定しております。ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

### 記

日時 2023年3月27日(月) 13:00~16:30

場所 現地対面+オンライン(Zoomを予定)

[現地対面] 同志社大学 今出川校地 寒梅館(室町キャンパス) 地下A会議室  
〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

<https://www.doshisha.ac.jp/kambaikan/>

現地対面アクセス

・地下鉄烏丸線	「今出川」駅から徒歩1分
・京阪電車	「出町柳」駅から徒歩20分
・バス停	「烏丸今出川」から徒歩3分

### ビジネスミーティング (13:00~13:30)

1. 前回議事録承認の件
2. 委員・幹事等について
3. 出版事業について
4. 国際会議FATIGUE2022<sup>+</sup>について (<https://fatigue2022.org/>)
5. 2023年度の部門委員会事業について
6. 疲労設計講習会企画小委員会について
7. 金属材料疲労信頼性データ集積評価委員会について
8. 国際・国内規格対応委員会について
9. 分科会活動について
10. その他

## 研究討論会 (13:30～16:30)

テーマ：「国際会議 Fatigue Congress の歴史と運営, 実機に関する疲労」

(13:30～14:20) 「Fatigue の歴史と運営, 接合体の疲労強度特性について」

広島大学

菅田 淳 氏

(14:20～15:10) 「金属疲労を例に思案する企業の研究・開発および課題」

豊田自動織機 材料技術部 (豊田中央研究所より出向)

鈴木 智博 氏

(15:10～15:30) 休憩

(15:30～16:20) 「デンソーにおける過酷環境下の製品設計事例」

株式会社デンソー 材料技術部

津田 将利 氏

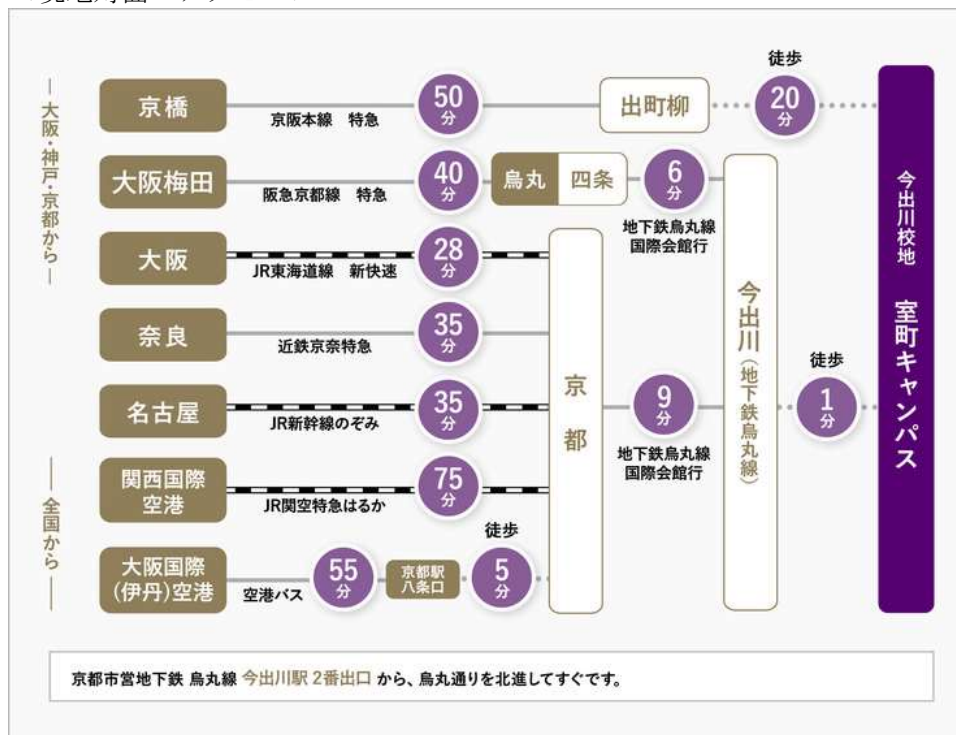
(16:20～16:30) 総合討論

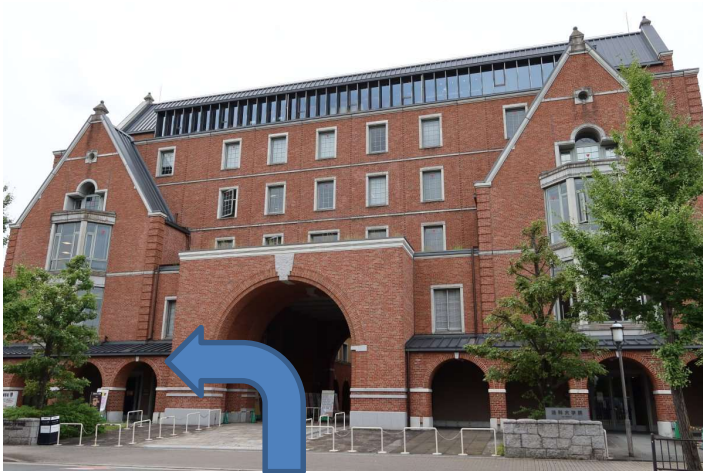
※ オンラインで配信する動画の録画・撮影はご遠慮ください。同意いただける方には、後日接続先URLおよび参加パスワードをE-mailにて送信いたします。

※ 担当者から配信した URL やパスワードを他の方に転送されないようお願い申し上げます。

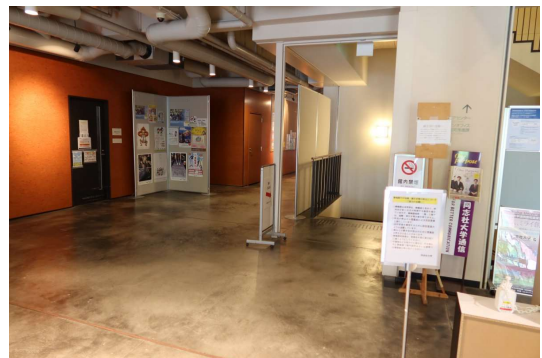
※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、完全オンライン開催に変更 (懇親会は中止) となる可能性がございます。

### <現地対面 アクセス>





寒梅館中央の大きなアーチ状入り口



左の入り口から入ってすぐ右の階段から地下へ.